

※当ファンドは、2026年4月13日に満期償還いたしました。これまでのご愛顧に対しまして、厚く御礼申し上げます。

受益者向け資料

Monthly Report

作成基準日：2026年3月31日



デジタルヘルス株式ファンド

追加型投信／内外／株式

※本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入していますので、合計の数値とは必ずしも一致しません。

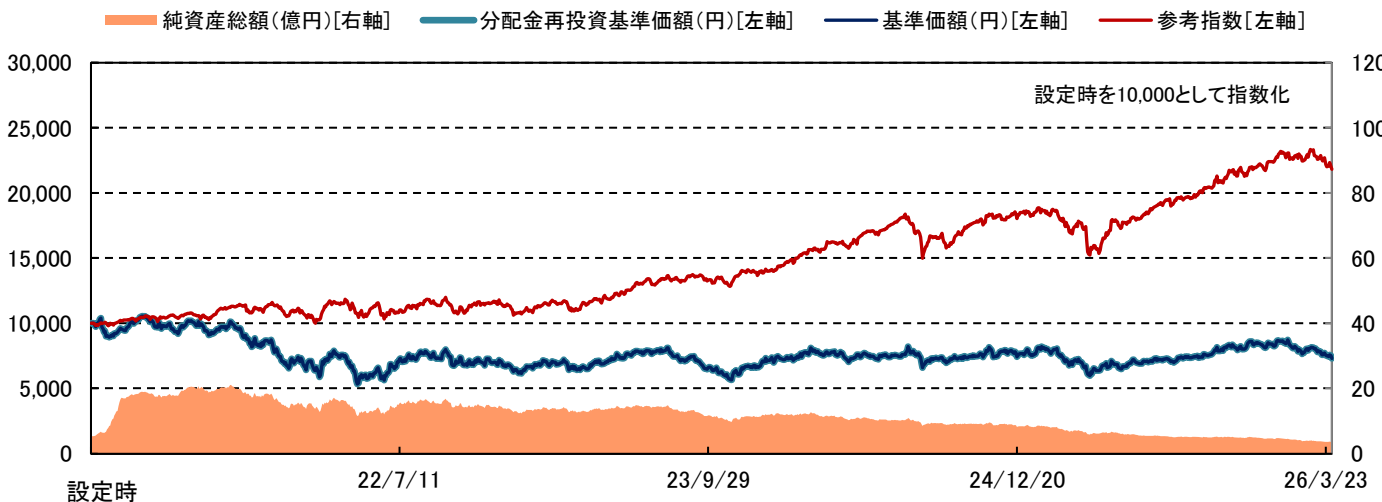
運用実績および分配実績は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額と純資産総額の推移（設定来：日次）

※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

なお、基準価額および分配金再投資基準価額は信託報酬控除後です。

※参考指数はMSCI オール・カントリー・ワールド指数（円ベース、ネット・トータル・リターン）【出所：MSCI】です。基準価額への反映を考慮して2営業日前の指数を表示しております。



商品概要

設定日	2021年4月16日
信託期間	2026年4月13日まで
決算日	4月11日 (休業日の場合は翌営業日)
信託報酬率	年 1.188% (税抜 1.08%)
基準価額	7,292円
純資産総額	344百万円

※投資対象とする外国投資証券にも別途信託報酬等がかかります。

期間別騰落率

	当ファンド	参考指数	差異
過去1ヵ月	-9.8%	-6.6%	-3.1%
過去3ヵ月	-13.1%	-2.7%	-10.4%
過去6ヵ月	-3.2%	6.6%	-9.8%
過去1年	4.2%	23.3%	-19.1%
過去3年	10.9%	92.5%	-81.6%
設定来	-27.1%	118.1%	-145.1%

※収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

※参考指数はMSCI オール・カントリー・ワールド指数（円ベース、ネット・トータル・リターン）です。基準価額への反映を考慮して2営業日前の指数を元に算出しております。

分配実績（1万口当たり、税引前）

第1期	2022年4月11日	0円
第2期	2023年4月11日	0円
第3期	2024年4月11日	0円
第4期	2025年4月11日	0円

設定来分配金合計 0円

資産構成

ファンド名	比率
UBS（ルクセンブルク）デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンド-I-A1-acc JPYクラス	97.1%
マネーアカウントマザーファンド	—
現預金等	2.9%
合計	100.0%

※比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

「MSCI オール・カントリー・ワールド指数（円ベース、ネット・トータル・リターン）」は、MSCIが発表している株価指数で、新興国を含む世界の主要国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その正確性及び完全性をMSCIは何ら保証するものではありません。その著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

※本資料をご覧くださいにあたっては、4ページの「ご留意いただきたい事項」を必ずご確認ください。

■ 設定・運用は



T&Dアセットマネジメント

電話番号 03-6722-4810（受付時間は営業日の午前9時～午後5時）

インターネットホームページ <https://www.tdasst.co.jp/>

投資対象ファンド「UBS（ルクセンブルク）デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンド-I-A1-acc JPYクラス」の運用概況
2026年3月末現在（現地基準）

※ 当ファンドは主としてルクセンブルク籍投資法人「GS・インベストメント・ファンズ 2」のサブファンドである「UBS（ルクセンブルク）デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンド」が発行する外国投資証券「I-A1-acc JPYクラス」（以下、「投資対象ファンド」と言うことがあります。）に投資を行います。

投資対象ファンドの運用概況は、UBSアセット・マネジメント（スイス）エイ・ジーより入手した「UBS（ルクセンブルク）デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンド」のデータをもとに作成しています。また、データの基準日は現地基準です。

◆ サブテーマ別構成比率

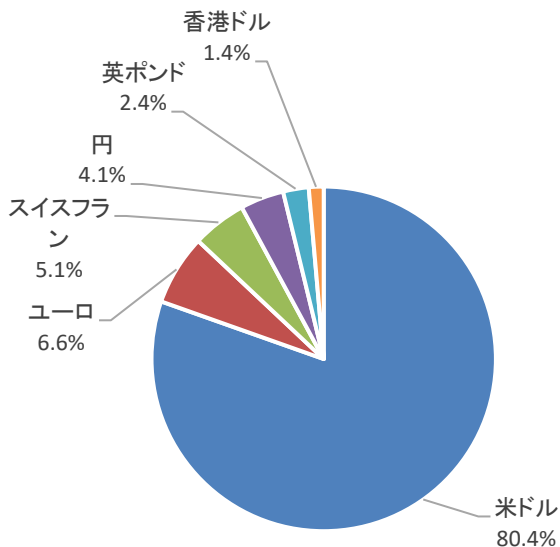
サブテーマ	組入比率 (%)
治療	46.8
効率化	25.7
研究・開発 (R&D)	25.5
現金等	2.1

◆ 組入上位10銘柄

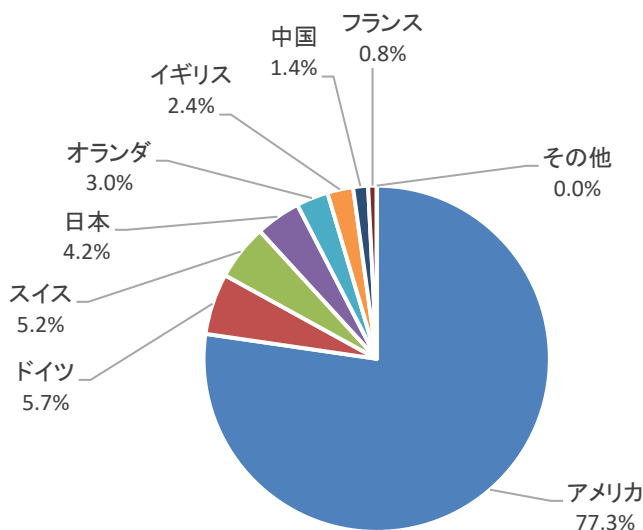
組入銘柄数：51銘柄

No.	銘柄名	組入比率 (%)
1	INTUITIVE SURGICAL INC	3.5
2	GUARDANT HEALTH INC	3.5
3	ARROWHEAD PHARMACEUTICALS INC	3.1
4	ALCON AG	3.1
5	KYMERA THERAPEUTICS INC	3.1
6	DENALI THERAPEUTICS INC	3.0
7	IRHYTHM HOLDINGS INC	3.0
8	KONINKLIJKE PHILIPS NV	2.9
9	CG ONCOLOGY INC	2.9
10	IONIS PHARMACEUTICALS INC	2.7

◆ 通貨別構成比率



◆ 国別構成比率



※各項目の比率は、「UBS（ルクセンブルク）デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンド」の純資産総額に対する比率です。

※本資料をご覧いただくにあたっては、4ページの「ご留意いただきたい事項」を必ずご確認ください。

■ 設定・運用は



T&Dアセットマネジメント

電話番号 03-6722-4810（受付時間は営業日の午前9時～午後5時）
インターネットホームページ <https://www.tdasset.co.jp/>

市況概況

当月のグローバル株式市場は下落しました。
 前半は、プライベートクレジット市場への警戒が強まったこと、2月米雇用統計で非農業部門雇用者数の伸びが予想に反してマイナスに転じたと共に、失業率が予想外に上昇し、米労働市場悪化懸念が高まったこと、米国とイスラエルによるイランへの軍事攻撃を受け、イランがホルムズ海峡を封鎖し、エネルギー価格が急上昇したこと、ECB(欧州中央銀行)による早期利上げ懸念が高まったことから、株価は下落しました。後半は、2月米PPI(生産者物価指数)が市場予想を上回り、米国のインフレ再燃懸念が強まったこと、3月FOMC(米連邦公開市場委員会)後の会見で、FRB(米連邦準備制度理事会)議長がインフレ率が持続的に低下しているとの確信が得られない限り、利下げはしないとの見方を示したこと、トランプ米政権がイランへの地上部隊派遣を検討しているとの報道、イランが同政権の示した停戦案を拒否したことを受け、株価は続落しました。

運用概況

当ファンドの基準価額騰落率は9.8%の下落となりました。
 月を通して円建の外国投資信託証券であるUBS(ルクセンブルク)デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンド-I-A1-acc JPYクラス(以下、「投資対象ファンド」といいます。)を高位に組み入れましたが、満期償還に向けて月末に投資対象ファンドを全売却しました(ファンドへの計上は4月1日)。また、組み入れていたマネーアカウントマザーファンドについても、下旬に全売却しました。

投資対象ファンドの運用概況は以下の通りです。
 当月は、CGオンコロジー(CG Oncology, Inc.、膀胱がん向け医薬品や治療法の開発を手掛けるバイオテクノロジー企業)等がポートフォリオの収益にプラス寄与しました。一方、アイリズム・ホールディングス(IRhythm Holdings, Inc.、心拍監視システムなどを手掛ける医療機器メーカー)、アルコン(Alcon Inc.、コンタクトレンズなどアイケア製品やサービスを手掛けるスイス企業)等がポートフォリオの収益にマイナス寄与しました。

※文中の投資行動は、個別銘柄の売買等いかなる投資行動も推奨するものではありません。
 ※市況概況および「UBS(ルクセンブルク)デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンド-I-A1-acc JPYクラス」については、UBSセキュリティーズ(ジャパン)リミテッドより入手したコメントをもとに作成しており、現地月末基準です。

※本資料をご覧いただくにあたっては、4ページの「ご留意いただきたい事項」を必ずご確認ください。

■ 設定・運用は



T&Dアセットマネジメント

電話番号 03-6722-4810 (受付時間は営業日の午前9時~午後5時)
 インターネットホームページ <https://www.tdasset.co.jp/>

ご留意いただきたい事項

- 本資料はT&Dアセットマネジメントが当ファンドの受益者に運用状況をご報告するために作成した運用レポートであり、当ファンドを含む有価証券の売買の勧誘を目的とするものではありません。
- 本資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、本資料に掲載されているグラフ、パフォーマンス等の内容は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。本資料に記載されている意見・見通しは表記時点での当社の判断を反映したものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 投資信託はリスクを含む商品であり、株式および公社債等値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。
- 大量の解約・換金申込を受け付け短期間で解約資金を準備する必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、投資する有価証券の価格が下落し、基準価額が変動する要因となります。また、換金申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- 投資信託は預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 本資料の様式、表示項目等は将来、予告なく変更される場合があります。

